

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	インテリアデザイン実習2C	
科目基礎情報							
開設学科	インテリアデザイン科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位				授業形態	実習	
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。						
担当教員情報							
担当教員	林久喜			実務経験の有無・職種	有・インテリアデザイナー		
学習目的							
CAD・CGに関する基本的な知識や技術を学び、インテリアの基礎となるC A D製図の技術を習得することをねらいとする。インテリアデザインの仕事に直結するCADの技術を身に付けることで、次年度以降の課題に取り入れられるようにする。							
到達目標							
VectorWorksの使い方を身に付け、インテリアの平面図、展開図、家具図を2Dで表現できるようにすることを目標にする。インテリアデザインにおける2 D表現の重要性を理解する。							
教育方法等							
授業概要	CAD・CGソフトの基礎知識と技術を学ぶ科目である。この授業では個人ワーク主体で課題制作を行う。この授業では、インテリアデザインの作図の知識を利用し、C A Dの基礎となる製図ソフトの用紙の扱い方、縮尺のルールを理解することを目指します。この授業に参加した学生が自らのデザインの家具・インテリアにおける三面図、平面図、展開図の作図をC A Dを用いてできるようになることを目指す。						
注意点	遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は最終課題の評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する				
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する				
	課題完成度	10%	課題の完成度について総合的に評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	ガイダンス		インテリアにおけるP Cソフトの活用の仕方を覚え、実践できるようになる				
2回	VectorWorksの使い方(基礎)①		VectorWorksで線と簡易図形が書けるようになる				
3回	VectorWorksの使い方(基礎)②		VectorWorksでメニューの位置や用途を覚え、実践できるようになる				
4回	VectorWorksの使い方(応用)①		VectorWorksでクラスとレイヤーの使い分けを覚え、実践できるようになる				
5回	VectorWorksの使い方(応用)②		VectorWorksで縮尺、用紙の設定の仕方を覚える				
6回	家具の作図①（置き家具）		VectorWorksで置き家具の図面が描けるようになる				
7回	家具の作図②（造作家具）		VectorWorksで造作家具の図面が描けるようになる				
8回	家具の作図③		VectorWorksで置き家具と造作家具の図面が描けるようになる				
9回	平面図の作図①		VectorWorksで平面図が描けるようになる				
10回	平面図の作図②		VectorWorksで平面図が描けるようになる				
11回	平面図の作図③		VectorWorksで自分がデザインした空間の平面図が描けるようになる				
12回	展開図の作図①		VectorWorksで展開図が描けるようになる				
13回	展開図の作図②		VectorWorksで展開図が描けるようになる				
14回	マンション課題の作図①		インテリアデザイン実習2A・2Bの課題の平面図をCAD(2D)を使用して描けるようになる				
15回	マンション課題の作図②		インテリアデザイン実習2A・2Bの課題の展開図をCAD(2D)を使用して描けるようになる				